

兵庫県のキノカワガ亜科・リングガ亜科・サラサリングガ亜科

(兵庫県産蛾類分布資料・23)

高島 昭

ここではヤガ科のうちキノカワガ、サラサリングガ、リングガの各亜科について述べる。データは2001年8月31日現在で入手できた資料に基づいている。記載要領は別稿の「兵庫県のウババ亜科」と同様であるので参照されたい。データのあとの★マークは、兵庫県立人と自然の博物館で確認できた標本を示す。標本調査及び記録の掲載に格別のご配慮を頂いた兵庫県立人と自然の博物館の中西明德氏、八木剛氏にはこの場を借りて厚くお礼を申し上げる。

キノカワガ亜科 <SARROTHRIPINAE>

形態的にリングガ亜科と類似点が多く、サラサリングガ亜科を含めてヤガ科から独立させるべきであるという意見がある。また、コブガ科との類縁関係についてもしばしば示唆されており、実際にコマバシロキノカワガ属(*Nolathripa*)はその中間的な外観上の特徴を持っている。このように上位分類の位置はやや不安定であるが、ここでは日本産蛾類大図鑑及びPost MJ Ed.2に従い、ヤガ科の一員として取り扱う。後翅のM₂は発達し、前翅の中室端には多少とも隆起した鱗片を生じることが多いが例外もある。

大きく分けて2つの群に大別される。日本からは21種が確認されているが、南方系の種が多く、兵庫県下からは10種が記録されている。

県内における産出状況を地域別に見ると、神戸市5種、阪神北摂9種、中東播南部3種、中東播北部7種、西播南部5種、西播北部2種、南但7種、北但3種、丹波6種、淡路北部3種、淡路南部7種である(別表参照)。このうちシンジュキノカワガは定着性が少なく、偶産種であると思われる。また、ミヤマクロスジキノカワガは採集例が少なく注目すべき種である。クロテンキノカワガは兵庫県からは未記録であるが近県での記録があり、今後見つかる可能性が高い種である。

1. *Nolathripa lactaria* (Graeser) (3966)

コマバシロキノカワガ

前翅環状紋、腎状紋及び各横線上には、やや隆起し光沢を有する鱗片を生じる。幼虫は腹部第3節の腹脚を欠き、1次刺毛には毛束を生じるなどコブガ亜科に似た特徴を持つ。食樹はオニグルミで、北海道から九州にかけて分布する。県下では散発的ながら各地で得られているが、東播地域、淡路地域では

記録されていない。オニグルミの生える河川流域では分布していると思われる。

[採集記録]

能勢妙見山(26.VIII.1983,1♂,夏秋ほか⁶⁷)
宝塚市(武田尾,23.VI.1990,1♀,東正雄¹³⁰:西谷西部,16.VI.1990,1♀,東正雄¹³⁰)
相生市(瓜生,17.VI.1989,1♂,高島昭¹⁵²)
関宮町(氷ノ山,-,-,1955,-,山本義丸⁷)
宍垣町(神楽,-,-,-,山本義丸¹⁵⁵)

2. *Negritothripa hamptoni* (Wileman) (3967)

ネジロキノカワガ

胸背及び前翅の後縁部は白色で、その他の部分はやや金属光沢を有する。腎状紋には環を有し、中心の鱗片は隆起する。日本特産で本州、四国、対馬に分布する。食樹はクヌギ、コナラである。県下では、丹波地域を除く各地で得られている。平地から低山地の二次林には広く分布しているものと思われる。

[採集記録]

神戸市(藍那,5.VI.1988,1♀,中川俊夫*)
川西市(黒川,10.VIII.1996,1♀;7.VI.1997,1♂;2.VIII.1997,1♀,高島昭¹⁷¹)
猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,2♀,夏秋ほか⁷³)
宝塚市(西谷西部,8.VII.1987,1♀;18.VI.1988,1♂1♀;16.VI.1990,1♀;8.VI.1991,1♀;20.VI.1992,1♂,東正雄¹³⁰)
黒田庄町(喜多,15.VI.1962,1ex.;7.VII.1962,1ex.,岡本清¹⁶⁸)
三日月町(下本郷,-.VI.-,-,川副昭人¹⁰⁹)
村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♀,高島昭)
大屋町(田瀬山,5.VIII.1975,1♂,遊磨正秀⁷⁹)
南淡町(阿万上町,5.VIII.1975,-,藤平明⁹⁹:同,8.IX.1987,-,藤平明¹⁹⁷:福良向谷,5.VI.1996,-,藤平明¹⁹⁷)

3. *Iscadia uniformis* (Inoue & Sugi) (3969)

ナンキンキノカワガ

♂と♀で色彩が異なり、♂では前翅は暗い紫褐色を帯びた灰褐色であるが、♀では淡い灰緑色をしている。腎状紋はやや角張った暗色環を有し、中心には隆起した鱗片を生じる。宮城県以南の本州から九州にかけて分布する。幼虫はシラキ、ナンキンハゼにつく。年2回の発生であるが成虫で越冬し、翌春にも活動する。県下では各地に分布している。山地帯よりも平地に多いものと思われる。街路樹にナンキンハゼが使われることもあり、このような場合に

は市街地でも発生する可能性がある。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,5.VIII.1967,1♀,岡村八郎*:同,-,-,-,-,田中蕃¹³)
西宮市(甲東園,1.IX.1988,1♂;2.IX.1988,1♂;3.IX.1988,1♂,川副昭人*)
能勢妙見山(7.VII.1984,1♀;18.VIII.1984,1♂,夏秋ほか⁷³)
宝塚市(光明町,10.IX.1988,1♂,東正雄¹³⁰)
黒田庄町(喜多,12.IV.1961,1ex,岡本清¹⁶⁴)
大河内町(長沢,29.VI.2000,1♂,高島昭)
安富町(大河溪谷,19.VI.1999,1♂,高島昭)
波賀町(坂の谷,20.VI.1998,1♂,高島昭:引原,22.VI.1974,1♂;29.VI.1974,1♂,遊磨正秀⁵⁵:同,10.IX.1987,1♀;7.IX.1988,1♂;22.IX.1988,1♀,高島昭¹⁶²)
村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♂,高島昭)
大屋町(横行溪谷,6.VII.1999,1♂,高島昭)
関宮町(大段ヶ平,1.VII.2000,1♂,高島昭)
青垣町(神楽,12.VIII.1952,-,山本義丸⁶)
南淡町(福良向谷,6.VII.1996,-,藤平明¹⁹⁷)

4. *Eligma narcissus* (Cramer) (3971)

シンジュキノカワガ 注目種

大変特異な色彩をしており、他種と混同することはない。幼虫はシンジュにつく。もともと日本に分布していたのではなく、ホストのシンジュの移入とともに日本に入ってきた帰化昆虫と考えられている。文献上では1909年に熊本市で記録されているのが最初で、その後全国に散発的に採集例があるが、九州北部でも発生頻度が高いようで、この地域では不安定ながら定着している可能性がある。兵庫県でも柏原町で1949年に記録されており、その後西宮市甲子園、高砂市、最近になって南淡町や鉢伏高原、和田山町で記録されているが、定着している可能性は少ないものと思われる。

【採集記録】

西宮市(甲子園,1.VIII.1954,1♀,阿部駿一¹³⁰)
高砂市(-,6.IX.1965,1ex.,S.N¹⁶⁴)
和田山町(久世田,15.X.1998,1ex.,柴田剛)
関宮町(鉢伏高原,18.X.1996,1♀,永瀬幸一¹⁶⁴)
柏原町(柏原,-,IX.1949,-,山本義丸⁶)
南淡町(阿万上町,30.X.1991,1ex.,藤平明¹⁹⁷)

5. *Risoba prominens* Moore (3972)

リュウキュウキノカワガ

関東南部を北限とし、九州まで本土南岸地域に分布し、伊豆御蔵島、屋久島、奄美大島、沖縄、西表島でも得られている。食樹はヤマモモである。しばしば市街地でも採集されることがあり、街路樹として植えられたヤマモモで発生しているものと思われる。

る。県下では南部の平地から低山地にかけて得られている。淡路地域ではもっと産地は見つかると思われるし、西播地域南部からも発見されられると思われる。

【採集記録】

神戸市(藍那,10.IX.1984,1♀;26.VI.1988,1♀,中川俊夫*:諏訪山公園,-,IX.1990,-,山口福男²⁰¹:摩耶山,3.VIII.1968,1♀;23.VIII.1984,1♂,岡村八郎*:同,-,-,-,田中蕃¹³)
宝塚市(宝梅1丁目,22.IV.1987,1♀;4.VII.1989,1♀;12.IX.1989,1♀,東たか¹³⁰:武庫川町,14.IX.1982,-,新家勝⁶⁴)
黒田庄町(喜多,27.IX.1960,1ex.,岡本清¹⁶⁴)
洲本市(宇山,26.VIII.1981,1ex.;27.VIII.1981,1ex.,林俊雅⁷⁸)
南淡町(阿万上町,10.IX.1962,-;1.VIII.1973,-,藤平明¹⁵:同,24.VI.1991,-;29.IV.1993,-,藤平明¹⁹⁷:灘大川,7.V.1994,-,藤平明¹⁹⁷:灘黒岩,23.VIII.1997,-,藤平明¹⁹⁷:福良向谷,7.VI.1997,-;23.IX.1997,-,藤平明¹⁹⁷)

6. *Blenina senex* (Butler) (3974) キノカワガ

前翅は樹皮状に隆起した鱗片に厚く覆われ、樹皮に静止しているときは保護色となっている。北海道から沖縄まで分布し、年2回の発生で成虫越冬する。幼虫はカキにつく。県下では各地に普通に見られる。

【採集記録】

神戸市(藍那,23.VI.1985,1♂,中川俊夫*:諏訪山公園,-,X.1985,-,山口福男²⁰¹:摩耶山,-,-,-,-,岡村八郎¹⁶⁴:同,-,-,-,-,田中蕃¹³:六甲山,-,-,1933,-,堀江聡男¹:同,6.VIII.1988,1♀,岡村八郎*)
尼崎市(南塚口町,18.XI.1982,1♂,夏秋優²⁰⁶)
川西市(黒川,13.VII.1996,1♀,高島昭⁷¹)
猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,1♂;1.IX.1982,1♂,夏秋ほか⁷³)
宝塚市(光明町,18.X.1988,-,新家勝¹³⁰:武田尾,12.VIII.1991,-,東正雄¹³⁰:西谷西部,8.X.1988,1♂,東正雄¹³⁰:宝梅1丁目,16.I.1980,-;18.X.1988,-,東正雄¹³⁰:南口2丁目,26.X.1978,-,新家勝⁶⁴)
三田市(相野,2.XII.1985,1♂,岡村八郎*)
黒田庄町(喜多,-,X.1958,1ex.;-III.1959,1ex.;3.IV.1959,1ex.;-X.1959,1ex.,岡本清¹⁶⁴)
姫路市(太市,-,1991,-,丸谷ほか¹³⁶:同,21.III.1995,1♂,高島昭:広嶺山,-,1982,-,木村三郎⁶⁵)
新宮町(-,-,-,-,-,相坂耕作²⁰⁰)
安富町(大河溪谷,19.VI.1999,1♂,高島昭:皆河,21.X.1988,1♂,高島昭)
波賀町(引原,22.VI.1974,1♂;22.IX.1974,-(目撃記録);7.VI.1975,1♂;11.X.1975,1♀;22.X.1975,1♂1♀;6.XII.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁵:同,9.VII.1988,1♀;25.VII.1988,1♀;5.VIII.1988,1♂;19.X.1988,1♂,高島昭¹⁶²:同,19.X.1997,1♂,高島昭)

上郡町(船坂,8.IV.1998,1♂,高島昭)
 豊岡市(正法寺,29.X.1998,1ex.;10.XI.1998,1ex.,柴田剛:山本,20.VI.1973,-,山根政之⁴³)
 和田山町(久世田,1.XI.1998,1ex.,柴田剛)
 氷ノ山(-.-.-,遠山ほか³⁶)
 関宮町(大段ヶ平,1.VII.2000,1♂,高島昭:氷ノ山,-,1955,-,山本義丸⁷)
 氷上郡(-.-.-,山本義丸⁸)
 津名町(大町畑,5.IV.1972,1♂,登日邦明²⁴:同,31.VII.1972,1♂,登日邦明²⁵)
 洲本市(宇山,25.VIII.1980,1ex.,林俊雅⁷⁸)
 南淡町(阿万上町,12.XI.1958,-;11.II.1962,-;5.VI.1972,-,藤平明²⁵:同,5.V.1983,-,藤平明²⁶:同,22.VIII.1991,-,藤平明¹⁹⁷)

7. *Charcoma ruficirra* (Hampson) (3976)

ネスジキノカワガ

内横線より内方に二重の暗色条があり、この線は後縁に達しない。関東地方、新潟県を北限として四国、九州、八丈島に産する。春から秋まで見られ、幼虫はクリやドングリの果実に食い込むことが知られている。県下では、南部地域で記録されている。但馬地域や丹波地域からも発見されると思う。

【採集記録】

神戸市(六甲山,13.IX.1970,1♂,遊磨正秀³¹)
 川西市(平野,8.IV.1992,1♂,東正雄¹⁰⁰)
 能勢妙見山(18.VIII.1984,1♂,夏秋ほか⁸⁷)
 宝塚市(武庫川町,10.IV.1985,-,新家勝⁸⁶)
 黒田庄町(喜多,29.XI.1961,1ex.,岡本清¹⁶⁸)
 三日月町(下本郷,-.V.1984,-,川副昭人¹⁰²)
 津名町(大町畑,5.IV.1972,2♂,登日邦明²⁶)
 南淡町(阿万上町,22.IV.1985,-;23.X.1985,-,藤平明²⁶:同,29.X.1990,-;23.III.1993,-,藤平明¹⁹⁷:麓黒岩,11.IV.

1998,-,藤平明¹⁹⁷:福良向谷,22.IV.1997,-,藤平明¹⁹⁷)

8. *Nycteola degenerana* (Hübner) (3977)

ミヤマクロスジキノカワガ 注目種

他の種と比べて前翅翅頂は尖り、外縁の丸味は少ない。斑紋には変化が多いが内横線の外側に接し、1A+2A脈に沿って外方に尖る小さな黒色条を有するのは本種の識別点となる。幼虫はヤナギ科につくと推定されていたが、バッコヤナギ、ミネヤナギにつく幼虫が発見された。北海道から中部地方にかけてと四国、対馬に分布し、本州南部は空白地帯となっているが、県下では川西市で1例の記録があり、少ないながら産するものと思われる。

【採集記録】

川西市(平野,10.IV.1992,1♀,東良雄¹⁰⁰)

9. *Nycteola asiatica* (Krulikowski) (3978)

クロスジキノカワガ

前翅はかなり長く一様な灰色で、内縁線は二重となり中室端には橙色斑を表し、同色の核を生じる。ヤナギ、ハコヤナギ属の植物につき、北海道から九州にかけての本土域に分布する。県下では北部から南部まで記録されているが、やや分布が限られる傾向にある。地味な種なので、飛来しても見過ごされることがあると思われる。

【採集記録】

黒田庄町(喜多,12.IV.1960,1ex.;14.IV.1960,1ex.;12.IV.1961,1ex.;9.IV.1962,1ex.,岡本清¹⁶⁸)
 氷ノ山(-.-.-,山本義丸⁹)
 関宮町(大久保,3.VIII.1961,1ex.,岡本清¹⁶⁸)
 柏原町(柏原,7.IV.1955,1♀,山本義丸¹⁵⁸)
 津名町(大町畑,5.IV.1972,1♂,登日邦明²⁶)
 南淡町(阿万上町,10.VI.1991,-;11.IX.1991,-,藤平明¹⁹⁷)

兵庫県におけるキノカワガ亜科分布一覽表

	神戸	阪神北摂	中東播南部	中東播北部	西播南部	西播北部	南但	北但	丹波	淡路北部	淡路南部	記録地数	備考
1. コマバシロキノカワガ		○		○			○		○			6	
2. ネジロキノカワガ	○	○		○	○		○	○		○		10	
3. ナンキンキノカワガ	○	○		○		○	○	○		○		14	
4. シンジュキノカワガ		○	○				○		○			6	注目種 個産種?
5. リュウキュウキノカワガ	○	○	○	○			○					11	
6. キノカワガ	○	○	○	○	○		○		○	○		31	
7. ネスジキノカワガ	○	○	○	○	○					○		10	
8. ミヤマクロスジキノカワガ		○		○			○		○	○		1	注目種
9. クロスジキノカワガ		○	○	○			○		○			6	
10. マエシロモンキノカワガ		○	○	○			○		○			8	
キノカワガ亜科 計	5	9	3	7	5	2	7	3	6	3	7		

10. *Nycteola costalis* Sugi (3979)

マエシロモンキノカワガ

前翅は比較的短く、斑紋は変異に富むが、亜外縁の内側に接し、前縁上に白色影を表すのは本種の特徴である。現在のところ日本の特産で、房総半島から九州にかけての南岸沿い、対馬、屋久島、奄美、西表に分布し、常緑カシ林の分布とほぼ一致している。主にアラカシを食べるといふ。日本海側からは記録がないという。県下では東南部に産地が限られており、西播北部地域、淡路地域からは報告がない。平地の二次林には広く生息していると思われる。

[採集記録]

西宮市(仁川,8.IX.1969,1♂,遊磨正秀¹⁾)
 宝塚市(南口2丁目,17.XI.1988,-,新家勝¹²⁾)
 高砂市(-,24.IX.1964,-,岡本清¹³⁾)
 黒田庄町(喜多,9.IV.1959,1ex.;12.IV.1961,1ex.;10.X.1961,1ex.,岡本清¹⁴⁾)
 上郡町(船坂,8.IV.1998,1♂,高島昭)
 関宮町(大段ヶ平,1.VII.2000,1♂,高島昭)
 柏原町(柏原,-,-,-,-,山本義丸¹⁵⁾)
 水上町(篠ヶ峰,-,-,-,-,山本義丸¹⁶⁾)

<今後記録される可能性のある種>

★ *Nycteola dufayi* Sugi (3980)

クロテンキノカワガ

前翅は暗い灰色を呈し、斑紋は不鮮明。マエシロモンキノカワガに似るが、翅表中央が暗灰褐色を帯びることはなく、前縁翅頂に近い白色影は全く現れないか弱い。また、腎状紋は赤褐色を呈しない。関東地方を北限として四国、九州にまで分布する。幼虫はアラカシ、ウラジロガシ、イチイガシにつく。ミズナラからも幼虫が発見された。兵庫県からは見つかっていないが、南部の平地から低山地では分布している可能性がある。

サラサリンガ亜科 <CAMPTOLOMINAE>

以前はヒトリガ科、あるいは独立の科であるサラサヒトリガ科に属していたが、現在はヤガ科に含まれている。ヤガ科では一旦リング亜科に含まれたが、かなり異質で最近では独立した亜科を設ける説が有力である。また、キノカワガ亜科、リング亜科とともにヤガ科の中ではかなり異質であり、独立した科として取り扱うべきであるとする意見もあり、上位分類の位置は必ずしも安定していないが、本稿では日本産蛾類大図鑑及び Post MJ Ed.2 に従い、ヤガ科サラサリンガ亜科として取り扱う。現在の知見では日本産は1属1種(サラサリンガ)であり、兵庫県

にも分布している。

1. *Camptoloma interiorata* (Walker) (3343)

サラサリンガ

別名サラサヒトリ。ヤガ科への移管に伴い和名がサラサリンガに改称されている。

色彩は特徴があり、同定は容易である。クヌギ、ナラ、カシなどを食べる。6~7月頃に出現する。本州から九州に至る本土域と対馬に分布する。県下では、地域的には満遍なく得られているものの記録は少なく、中東播地域からは記録がない。平地から低山地にかけて広く分布すると思われるが、意外に局地性が強いのかかもしれない。

[採集記録]

神戸市(藍那,14.VII.1989,1♀,中川俣夫*)
 宝塚市(美座2丁目,26.IV.1979,-,新家勝¹²⁾: 武庫川町,17.IV.1987,-,新家勝¹³⁾)
 姫路市(広嶺山,-,-,1982,-,木村三郎¹⁴⁾)
 相生市(三瀬山,25.VI.2000,1♂,高島昭)
 上月町(久崎,14.VII.1970,2♂1♀,相坂耕作)
 三日月町(下本郷,28.VI.1984,1♂,川副昭人*)
 関宮町(大段ヶ平,21.VII.2000,1♀,高島昭)
 水上郡(-,-,-,-,山本義丸¹⁵⁾)
 洲本市(厚浜,29.VI.1979,-;7.VII.1980,-,藤富正昭¹⁶⁾)

リング亜科 <CHLOEPHORINAE>

形態的にはキノカワガ亜科とよく似ており、両者を統合して扱う人もいる。さらにはサラサリンガ亜科も含めてこれらの種群をヤガ科から独立させる説もあるが、ここでは日本産蛾類大図鑑及び Post MJ Ed.2 に従いヤガ科に含めて取り扱う。

原則としてキノカワガ亜科で見られるような前翅翅表の隆起した鱗片は見られない。華麗な色彩を持つものが多く、キノカワガ亜科で見られるような隠蔽色を持つものは少ない。新大陸には分布しないが、旧熱帯には多くの種が分化し、アジアではスダランドの森林帯に種数が豊富である。日本には30種が知られ、そのうち兵庫県には17種が記録されている。なお、ワタリングがかつて県内から記録されたことがあるが、その後確認されていないこと、発表者から誤認の可能性が申告されていることなど、記録の信頼性が低いため本リストからは外している。

県内における産出状況を地域別に見ると、神戸市8種、阪神北摂13種、中東播南部6種、中東播北部8種、西播南部11種、西播北部11種、南但11種、北但8種、丹波11種、淡路北部3種、淡路南部8種となっており(別表参照)、調査密度の濃淡を除けば産出種類数の地域による差は少ない。南方系の種が優勢

であるが一部に北方系の種も混じり、バラエティーに富んだ種構成となっている。ハネモンリング、チャオビリング、ウスアオリング、ツクシアオリング、トビロリングは記録が少なく注目種である。また、クロモンオビリングは県内からの記録はないが、淡路島など南部では今後採集される可能性がある。

1. *Iragaodes nobilis* (Staudinger) (3981)

マエキリンガ

季節変異が認められ、1化では前翅にやや濃色の外横線が目立つが、2化では後縁上の褐色斑とその内方の淡色影のみとなる。東北地方から九州、対馬にかけて分布し、年2回の発生である。幼虫はイヌシデから発見されている。県下では、洲本市の記録を除くと山地帯から得られている。これは食樹の分布との関連が強いと思われる。六甲山周辺や中東播地域にも生息すると思われる。

[採集記録]

能勢妙見山(26.VIII.1983,1♂,夏秋ほか⁴⁷)

大河内町(長沢,23.V.2000,1♂,高島昭)

安富町(大河渓谷,14.V.1999,1♂,高島昭)

波賀町(坂の谷,6.VI.1992,1♂,熊代直生*: 同,5.VI.

1998,1♂;20.VI.1998,1♂,高島昭: 引原,4.VII.1973,

1♀;18.VII.1973,1♀;22.V.1976,2♀,遊磨正秀⁵⁵: 同,16.VII.1988,1♀,高島昭¹⁴)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,-(目撃記録),遊磨正秀⁷⁰: 横河渓谷,15.V.1999,1♀,高島昭)

氷ノ山(-,-,-,遠山ほか³⁶)

関宮町(大段ヶ平,2.VI.2000,1♂,高島昭: 氷ノ山,-,-,1954,-,山本義丸⁵)

青垣町(神楽,-,-,-,山本義丸¹⁵⁵)

洲本市(宇山,16.V.1981,1ex.,林俊雅⁷⁸)

2. *Earias pudicana* Staudinger (3985)

アカマエアオリング

前翅は深緑色で、中室端の褐色点は個体によっては欠くこともある。緑毛は紫褐色、後翅は白色。春型では胸背及び前翅前縁基部がピンク色を帯びることが多い。年2~3回の発生で春から秋まで見られる。北海道から九州に至る本土域と対馬、屋久島に産する。幼虫はヤナギを食べる。ヤマハギを食べることも確認されている。県下では各地に普通に見られる。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-,-,-,田中蕃¹³)

川西市(黒川,3.V.1997,1♂,高島昭¹²¹)

宝塚市(西谷西部,14.V.1977,1♂;27.VI.1977,1♀;27.VI.

1987,1♂1♀;5.IX.1987,1♂;20.VIII.1988,1♂,東正雄

¹²⁰: 南口2丁目,25.VI.1984,-,新家勝⁹²: 武庫川町,11.

X.1984,-,新家勝⁹²: 同,10.V.1989,-,新家勝¹²³)

黒田庄町(喜多,7.VII.1960,1ex.,岡本清¹⁶⁴)

波賀町(引原,1.VI.1974,1♀;22.V.1976,1♂,遊磨正秀⁵⁵)

三日月町(下本郷,-.VII.1983,-;.VIII.1983,-;.V.1984,-,川副昭人¹⁰²: 同,5.VI.1984,1♂1♀;9.VI.1984,1♀,川副昭人*)

氷ノ山(-,-,-,遠山ほか³⁶)

氷上郡(-,-,-,山本義丸⁶)

津名町(大町畑,3.V.1972,1♂;5.V.1972,1♀,登日邦明²⁶)

南淡町(阿万上町,23.IV.1973,-,藤平明²⁵: 同,4.V.1976,-,藤平明²⁶: 同,19.VIII.1987,-,藤平明¹⁹⁷)

3. *Earias roseifera* Butler (3986)

ヘニモンアオリング

前翅は黄緑色であるが、春型では翅表中央が濃いピンク色を帯びる。中室端には暗色点を表すことが多い。後翅は灰色ないし暗灰色。北海道から九州に至る本土域と対馬、屋久島、御蔵島、石垣島に分布し、幼虫は各種ツツジ類を食べる。年2回以上の発生と思われる。県下では前種同様各地に普通に産する。

[採集記録]

神戸市(藍那,19.V.1988,1♂,中川俊夫*: 諏訪山公園,-.VI.1986,-,山口福男¹⁰¹: 摩耶山,-,-,-,田中蕃¹³)

尼崎市(南塚口町,10.V.1982,1♂;15.V.1982,1♀,夏秋優¹⁰⁶)

川西市(黒川,13.VII.1996,1♂,高島昭¹²¹: 平野,26.VI.1992,1♀;26.IX.1992,2♀,東良雄¹²⁰)

猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,1♀,夏秋ほか⁷²)

宝塚市(武庫川町,1.VII.1987,-,新家勝¹²³)

高砂市(-,30.VII.1971,-,岡本清¹⁵⁸)

黒田庄町(喜多,19.IV.1960,1ex.;30.IV.1960,1ex.;1.V.

1960,2exs.;11.V.1960,1ex.;12.V.1960,1ex.,岡本清¹⁶⁴)

姫路市(太市,-,1991,-,丸谷ほか¹²⁴: 同,17.V.1995,1♀,高島昭)

三日月町(下本郷,-.VI.-,川副昭人¹⁰²)

温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,1ex.,谷田昌也⁷¹)

氷上郡(-,-,-,山本義丸⁶)

津名町(大町畑,3.V.1972,1♂;5.V.1972,2♀,登日邦明²⁶: 同,1.VII.1972,1♂;31.VII.1972,1♂,登日邦明²⁹)

洲本市(中津川,4.V.1972,1♂1♀,登日邦明²⁶: 同,3.VII.1972,1♂2♀,登日邦明²⁹)

三原町(八木養宜,23.IV.1993,-,藤富正昭¹²¹)

南淡町(阿万上町,2.V.1960,-,19.IX.1973,-,藤平明²⁵: 賀集,3.V.1995,-,藤平明¹⁹⁷)

4. *Kerala decipiens* (Butler) (3992)

ハネモンリング 注目種

前翅は細長く、静止するときは体軸に沿って翅を

丸め、コケガ亜科のホソバ類のような姿態を表す。北海道から九州、屋久島にかけて分布するが、西日本では少なく稀な種となる。幼虫はヤマハシノキを食べると予想されている。年2回の発生で、県下では氷ノ山周辺の山地で得られているだけである。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,12.VI.1998,1♂,高島昭)
大屋町(横行溪谷,4.VI.1999,1♂,高島昭)
氷ノ山(---,1ex.,山本義丸⁹)

5. *Gelastocera exusta* Butler (3993)

クオロピリンガ

北海道から九州にかけての本土域に普通に産する。年2回、春と夏に出現する。幼虫は、オニグルミ、サワシバ、オヒョウ、ヤシヤブシ、シナノキ、フジなど多種の樹木につく。県下では、各地に産し、平地でも山地でも得られている。

【採集記録】

神戸市(藍那,27.IX.1981,1♂,松本健嗣⁸¹:ひよどり台,7.VIII.1983,1♀;11.VIII.1983,1♂,松本健嗣⁸¹:六甲山,3.VI.1989,1♂,岡村八郎⁸)
川西市(黒川,18.V.1996,1♀,高島昭¹⁷¹:平野,20.VII.1992,1♂,東良雄¹²⁰)
能勢妙見山(29.VIII.1983,1♂,夏秋ほか⁸⁷)
猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♂;20.VIII.1982,1♀,夏秋ほか⁷³)
宝塚市(西谷西部,14.V.1977,3♂;20.VIII.1988,1♀,東正雄¹²⁰)
黒田庄町(喜多,30.IV.1959,1ex.;21.IX.1959,1ex.;20.IV.1960,1ex.;24.V.1960,1ex.;29.VI.1961,1ex.,岡本清¹⁶⁴)
姫路市(太市,---,1991,-,丸谷ほか¹²²:広嶺山,6.VII.1996,1♀,高島昭¹⁶²)
波賀町(坂の谷,26.VIII.1988,1♀;28.VIII.1988,1♂;27.V.1998,1♂;12.VIII.1998,1♂;10.IX.1998,1♂;17.IX.1998,1♂,高島昭:引原,22.VI.1974,1♀;29.VI.1974,1♂;22.V.1976,1♂,遊磨正秀⁵⁵:同,2.VII.1988,1♂;20.VIII.1988,2♂;20.VIII.1988,1♂,高島昭¹⁶²)
相生市(瓜生,21.V.1997,1♂;8.IX.1997,1♂,高島昭¹⁷²)
南光町(船越,23.VIII.1963,1ex.,岡本清¹⁶⁴)
三日月町(下本郷,-.VI.-,-.IX.-,-.V.1984,-.VII.1984,-.IX.1984,-,川副昭人¹²²:同,28.IV.1984,1♂,川副昭人⁸)
村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♂,高島昭)
朝来町(須留ヶ峰,31.VII.1975,-(目撃記録),遊磨正秀⁵⁴)
大屋町(横行溪谷,15.V.1999,1♀;6.VII.1999,1♂;3.IX.1999,1♂,高島昭)
氷ノ山(---,---,遠山ほか²⁴)
関宮町(大段ヶ平,2.VI.2000,1♂;1.VII.2000,1♂,高島昭:氷ノ山,---,1954,-,山本義丸⁹:同,---,1955,-,山本

義丸⁷:福定,18.VIII.1964,1ex.,岡本清¹⁶⁴)

氷上郡(---,---,山本義丸⁹)

南淡町(阿万上町,10.V.1985,-;17.IX.1986,-,藤平明⁸⁹:同,27.IV.1986,-;11.V.1991,-,藤平明¹⁹⁷:灘黒岩,29.VI.1998,-,藤平明¹⁹⁷:福良乙,3.V.1996,-,藤平明¹⁹⁷:福良向谷,22.IV.1997,-,藤平明¹⁹⁷)

6. *Macrochthonia fervens* Butler (3995)

カマフリンガ

北海道から九州までの本土域に普通に産する。幼虫はハルニレ及びケヤキから見つかっている。県下ではやや記録が少なく、中東播地域、淡路地域からは見つかっていない。里山地域では広く分布しているのではないと思われる。

【採集記録】

神戸市(藍那,27.IX.1981,1♂,松本健嗣⁸¹:ひよどり台,7.VIII.1983,1♀;11.VIII.1983,1♂,松本健嗣⁸¹)
妙見山(29.VIII.1983,1♂,夏秋ほか⁸⁷)
波賀町(引原,22.VI.1974,1♀;29.VI.1974,1♂,遊磨正秀⁵⁵:同,2.VII.1988,1♂;20.VIII.1988,2♂,高島昭¹⁶²:坂の谷,28.VIII.1998,1♂,高島昭)
三日月町(下本郷,-.VII.1984,-.IX.-,-,川副昭人¹²²:同,5.VI.1984,1♂1♀,川副昭人⁸)
大屋町(横行溪谷,6.VII.1999,1♂,高島昭)
関宮町(氷ノ山,---,1955,-,山本義丸⁷:福定,18.VIII.1964,1ex.,岡本清¹⁶⁴:大段ヶ平,1.VII.2000,1♂,高島昭)
氷上郡(---,---,山本義丸⁹)

7. *Hypocarea conspicua* (Leech) (3997)

カバイロリンガ

前翅は赤褐色でやや橙黄色を帯び、中央に幅広い暗色部がある。また、翅頂近くの前縁部に暗色斑を有する。本州から九州にかけて分布するが最近北海道(大野町)からも発見されている。幼生期はわかっていないが、年2回出現する。県下では、能勢妙見山、波賀町、村岡町、関宮町から得られているだけで少ない種である。六甲山や中央山地では見つかるだろう。

【採集記録】

能勢妙見山(26.VIII.1983,1♀,夏秋ほか⁸⁷)
波賀町(坂の谷,26.VIII.1988,1♂;5.VI.1998,1♂;19.VIII.1998,1♂,高島昭:同,24.VIII.1991,1♂,大築正弘⁸:引原,1.IX.1988,1♂,高島昭¹⁶²)
村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,4♂,高島昭)
関宮町(氷ノ山,---,1955,3♂,山本義丸⁷)

8. *Maurilia iconica* (Walker) (3998)

チャオピリンガ 注目種

インドーオーストラリア地域に広く分布するが日

本では偶産種と思われる。これまで、九州の英彦山及び小笠原諸島から記録があるという。県下からは宝塚市で1♀の記録があるというが、南方よりの飛来個体と思われる。

[採集記録]

宝塚市(西谷西部,18.VI.1988,1♀,東正雄¹³⁰)

9. *Paracrama angulata* Sugi (4000)

ウスアオリンガ 注目種

南方系の種で、紀伊半島を中心とする近畿地方以西、四国、九州、対馬、西表島に産する。年2回かそれ以上の発生である。幼生期は未知である。県下では淡路地域から得られているが、筆者は最近大屋町で採集している。ここは標高約700mの山間地であり、本種はかなり移動性があるのかもしれない。神戸から西播にかけての瀬戸内海沿岸や但馬の沿岸地帯など暖帯林のある地域では発見できるだろう。

[採集記録]

大屋町(横行溪谷,6.VII.1999,1♂,高島昭)

津名町(大町畑,5.IV.1972,1♀,登日邦明⁷⁴)

洲本市(宇山,18.IV.1981,1ex.,林俊雅⁷⁵)

南淡町(阿万上町,25.IX.1965,-,藤平明⁷⁶:同,15.VI.1991,-;11.IX.1991,-,藤平明¹⁷⁷)

10. *Clethrophora distincta* (Leech) (4001)

ミドリリンガ

暖温帯系の種で常緑カシ帯の固有種とされている。関東、富山以西の本州と四国、九州、対馬、屋久島に分布する。年2回の発生でアラカシを食樹としている。県下ではほぼ全域にわたり記録されており、平地から山地まで広く分布するようであるが、淡路からはまだ報告されていないのは意外である。中東播南部及び淡路地域からの発見が期待される。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,30.VIII.1984,1♂,岡村八郎^{104*})

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,3♂;20.VIII.1982,2♀,夏秋ほか⁷⁷)

宝塚市(南口2丁目,24.VII.1983,-,新家勝⁸⁴)

三田市(香下,5.VI.1984,1♀;1.IX.1992,1♂,東正雄¹³⁰)

八千代町(笠形山,21.VII.1968,1ex.,岡本清¹⁰⁴)

波賀町(引原,25.VIII.1987,1ex.;22.IX.1988,1♂,高島昭¹⁶⁴)

相生市(瓜生,16.VI.1996,1♂,高島昭¹⁷⁸:三瀧山,25.VI.2000,1♂,高島昭)

上郡町(船坂,4.X.1997,1♂,高島昭)

佐用町(海内,25.VI.1965,1♂,阪口浩平^{*})

三日月町(下本郷,-.IX.-.-.VIII.1983,-.X.1984,-,川副昭人¹⁰²:同,28.VI.1984,1♀;28.VI.1984,1♀;29.IX.1984,3♂,川副昭人^{*})

豊岡市(山本,2.XI.1972,-,山根政之⁶⁴)

氷上郡(-.-.-,山本義丸⁸⁴)

11. *Hylophilodes tsukusensis* Nagano (4002)

ツクシアオリンガ 注目種

暖温帯系の種で、♂では後翅が黄色であるが♀では白い。本州では紀伊半島大塔山系、大阪府南部、中国地方、四国、九州北部に産し、山地性とされている。ツクシリンガともいう。"ツクシ"は北九州地方の呼び名である。幼虫は未知であるがマテバシイより藨が見つかっており、*Pasania* 属を食樹としている可能性が高いとされる。

県下では最近になって発見されており、川西市の記録の詳細は不明であるが、筆者は相生市、上郡町で採集している。相生市瓜生や赤穂市方面では局地的にシリブカガシが自生しているので、この仲間が食樹であるというのは現実性がある。また、もしそうとすれば、ムラサキツバメと同じような分布を示すと推測できる。なお、最近マテバシイが街路樹に使われることも多く、これについて分布拡大する可能性もあると思われる。

[採集記録]

川西市(-,19.IV.1987,-,越野誠一郎¹⁶⁴)

相生市(瓜生,29.V.1997,1♀;18.VII.1997,1♂,高島昭¹⁷⁸)

上郡町(行頭,2.V.1995,1♀,高島昭¹⁷⁸)

12. *Pseudoips prasinanus* (Linnaeus) (4003)

アオスジアオリンガ

春と夏で大きさや翅型、色彩が異なり、永らく別種ヤマトスジアオリンガとされてきたが、季節型であることが判明した。幼虫は、ブナ、ミズナラなどの樹木に見られる。年2回の発生で北海道から九州にかけての本土域に分布する。県下では、低山地から山地帯にかけて分布する。能勢妙見山以外の県南東部及び淡路地域からは記録がない。

[採集記録]

能勢妙見山(26.VIII.1983,2♂,夏秋ほか⁷⁷)

姫路市(太市,-.-.1991,-,丸谷ほか¹⁰⁸:広嶺山,-.-.1982,-,木村三郎⁸⁴:同,6.VII.1996,1♂,高島昭¹⁶⁰)

大河内町(長沢,23.V.2000,3♂1♀,高島昭)

安富町(大河溪谷,14.V.1999,1♂,高島昭)

波賀町(音水,24.V.1964,1ex.,岡本清¹⁰⁴:坂の谷,11.V.1991,2♂;6.VI.1992,1♂,八木剛^{*}:同,8.VI.1991,1♂;6.VI.1992,2♂2♀,熊代直生^{*}:同,12.VIII.1998,1♂,高島昭:引原,18.V.1974,2♀;1.VI.1974,1♀;8.VI.1974,1♂;12.VIII.1974,1♂;2.VI.1975,1♀;22.V.1976,3♂;8.V.1977,1♂1♀,遊磨正秀⁸⁶:同,10.VIII.1987,1ex.;26.V.1988,2♂;25.VII.1988,1♀,高島昭¹⁶⁴)

三室山(-.-.-,遠山ほか⁸⁴)

相生市(瓜生,26.VIII.1997,1♂,高島昭¹⁷⁸)

三日月町(下本郷,-IX.-,-.VII.1983,-.VIII.1983,-,川副昭人¹⁰⁶:同,9.V.1984,1♂3♀,川副昭人*)
 温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,1♂1♀,谷田昌也⁹⁷)
 鉢伏山(-.-.-,遠山ほか³⁶)
 朝来町(須留ヶ峰,31.VII.1975,1♂,遊磨正秀⁶⁴)
 大屋町(田淵山,5.VIII.1975,4♂1♀,遊磨正秀⁷⁰:横行溪谷,23.VII.1999,1♂;13.VIII.1999,1♂,高島昭)
 氷ノ山(-.-.-,遠山ほか³⁶)
 関宮町(大段ヶ平,2.VI.2000,1♂;21.VII.2000,1♂1♀;4.VIII.2000,1♂,高島昭:氷ノ山,-.-.-,山本義丸⁵)
 青垣町(神楽,-.-.-,山本義丸¹⁵⁵)
 市島町(妙高山,-.-.-,山本義丸¹⁵⁵)

13. *Pseudopsis sylpha* (Butler) (4004)

アカスジアオリング

暖温帯落葉樹林の蛾で、北海道から本州にかけてと四国北部、九州北部、対馬に産する。この種も季節型があり、かつて夏型はシロスジアオリングと呼ばれていた。年2回、春と夏に出現する。県下では、瀬戸内沿岸地域と北摂から丹波にかけての地域で記録されている。中央山地や但馬地域からは発見されていないが、低地には広く分布すると思われる。

[採集記録]

神戸市(藍那,18.VII.1987,1♀,中川俊夫*:摩耶山,-.-.-,田中蕃¹³:世継山,9.IV.1992,2♂,岡村八郎*:六甲山,25.IV.1985,1♀,岡村八郎*)
 猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,1♂4♀,夏秋ほか⁷⁹)
 宝塚市(西谷西部,24.VI.1978,1♂;22.VIII.1987,1♂;5.IX.1987,1♀,東正雄¹⁰⁰:南口2丁目,16.V.1988,-,新家勝¹⁰⁹:武庫川町,20.VI.1981,-,新家勝⁷⁰)
 三田市(香下,4.V.1975,1♂,東正雄¹⁰⁰)
 黒田庄町(喜多,13.IV.1960,1ex.;21.V.1960,1ex.;1.VII.1960,1ex.;2.VII.1960,1ex.,岡本清¹⁶⁸)
 姫路市(太市,23.IV.1995,1♀,高島昭)
 相生市(瓜生,7.VII.1989,1♀,高島昭¹⁵²)
 三日月町(下本郷,-.VIII.1983,-.VI.1984,-.VII.1984,-,川副昭人¹⁰⁶:同,28.IV.1984,2♂;9.V.1984,3♂,川副昭人*)
 柏原町(柏原,-.-.-,山本義丸¹⁵⁵)
 南淡町(阿万上町,20.IV.1993,-.6.VII.1996,-,藤平明¹⁹⁷)

14. *Siglophora ferreilutea* Hampson (4005)

トビイロリング 注目種

♂の前翅前縁部では翅脈は歪み、翅表に顕著な渦状の毛塊を生じる。幼生期はよくわかっていない。関東南部を北限とし、四国、九州、対馬、屋久島に分布する。県下では、相生市、豊岡市と南淡町から知られるのみで、詳しい分布状況はわからない。

[採集記録]

相生市(三濃山,30.V.2000,1♀,高島昭)

豊岡市(山本,24.X.1972,-,山根政之⁶⁴)
 南淡町(灘大川,12.VI.1995,-,藤平明¹⁹⁷:灘黒岩,30.V.1997,-,藤平明¹⁹⁷)

15. *Ariolica argentea* (Butler) (4006)

ギンボシリング

体翅とも銀白色で、橙色の条がある。この橙色条は時に消失する場合がある。北海道から九州に至る本土域と対馬、屋久島に分布し、幼虫はツツジ類につく。県下では、各地に普通であるが中東播南部と淡路地域からは記録がない。おそらく普遍的に分布するものと思われる。

[採集記録]

神戸市(諏訪山公園,-.VII.1997,-,山口福男¹⁰¹:摩耶山,22.VIII.1985,1♀,岡村八郎*:同,-.-.-,田中蕃¹³:六甲山,6.V.1985,1♂,岡村八郎*)
 宝塚市(武田尾,2.VI.1987,1♂;12.VIII.1991,1♀,東正雄¹⁰⁰:中山寺,25.V.1985,-,新家勝¹⁰⁰:西谷西部,3.V.1976,3♂;14.V.1977,1♀;27.VI.1987,1♂;5.IX.1987,1♂,東正雄¹⁰⁰)
 三田市(香下,28.VII.1989,1♀,東正雄¹⁰⁰)
 黒田庄町(喜多,11.V.1960,1ex.,岡本清¹⁶⁸)
 波賀町(坂の谷,28.VIII.1998,1♂,高島昭:引原,8.VI.1974,1♀;2.VI.1975,1♀,遊磨正秀⁶⁵:同,26.VI.1988,1♀,高島昭¹⁵²:同,21.X.1997,1♂,高島昭)
 相生市(瓜生,13.V.1989,1♂1♀,高島昭¹⁵²:同,30.IV.1997,1♀;21.V.1997,1♀;26.VIII.1997,1♀,高島昭)
 三日月町(下本郷,27.VII.1984,1♀,川副昭人*)
 出石町(弘原,21.VII.1975,-,大林誠⁶⁴)
 朝来町(須留ヶ峰,31.VII.1975,-(目撃記録),遊磨正秀⁶⁴)
 大屋町(田淵山,5.VIII.1975,-(目撃記録),遊磨正秀⁷⁰)
 氷ノ山(-.-.-,遠山ほか³⁶)
 関宮町(大段ヶ平,4.VIII.2000,1♀,高島昭)
 氷上郡(-.-.-,山本義丸⁵)

16. *Gobala argentata* Butler (4007)

ハイイロリング

前翅の色彩には変異が多い。本州北部から九州にかけてと対馬、屋久島に分布する。年2回以上の発生で、6月頃から出現するが、成虫で越冬するため、春先にも成虫が見られる。食樹はヌルデ。県下での記録はやや少ないものの、平地から山地まで普遍的に見られるものと思われる。

[採集記録]

神戸市(保久良山,9.IX.1985,1♂,岡村八郎*:摩耶山,-.-.-,田中蕃¹³)
 川西市(黒川,18.V.1996,1♂,高島昭¹⁷¹)
 猪名川町(上阿古谷,11.VII.1983,1♂,夏秋ほか⁷⁹)
 黒田庄町(喜多,16.V.1960,1ex.;6.IX.1960,1ex.;17.XI.

1960,1ex.,岡本清¹⁶⁾
 姫路市(太市,-,1991,-,丸谷ほか¹³⁾)
 波賀町(引原,27.IX.1974,1♀;22.X.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁴⁾
⁵⁵:同,26.V.1988,1♂;5.VIII.1988,1♀,高島昭¹⁴⁾)
 豊岡市(正法寺,28.IV.1998,1♂,柴田剛)
 関宮町(氷ノ山,-,1955,-,山本義丸⁷⁾)
 氷上郡(-,-,-,-,山本義丸⁹⁾)
 南淡町(阿万上町,12.IX.1958,-,藤平明⁵⁵:阿万上町,11.
 IV.1994,-,藤平明¹⁶⁾)

竹野町(森本,23.IX.1998,1ex.,柴田剛)
 朝来町(須留ヶ峰,31.VII.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁴⁾)
 大屋町(横行溪谷,23.VII.1999,1♀,高島昭)
 氷ノ山(-,-,-,-,遠山ほか⁵⁵:同,-,-,-,-,山本義丸⁹⁾)
 氷上郡(-,-,-,-,山本義丸⁹⁾)

<今後記録される可能性のある種>

★ *Gelastocera rubicundula* (Wileman) (3994)
 クロモンオピリンガ

紀伊半島、四国、九州の南岸沿いと屋久島に分布する。淡路島では記録される可能性がある。

17. *Sinna extrema* (Walker) (4008)

アミメリンガ

前翅の斑紋はしばしば消失することがあるという。北海道から九州に至る本土域に分布し、年2回以上の発生で、5~9月に見られる。幼虫はオニグルミを食べることが知られている。県下では案外記録が少なく、県南東部と淡路地域からは記録がない。食樹がオニグルミであるので、六甲山系や北摂山地、中央山地の谷添いの環境を探せば見つかるものと思う。

[採集記録]

波賀町(引原,16.VII.1988,1♂;1.IX.1988,1♂,高島昭¹⁴⁾)
 相生市(瓜生,24.V.1989,1♀,高島昭¹⁵:同,28.IV.1997,
 1♂;26.VIII.1997,1♂;8.IX.1997,1♂,高島昭)

<引用文献>

- 1) 戸澤信義(1935) 六甲山産蛾類目録 関西昆虫雑誌2(3):30-31
- 5) 山本義丸(1955) 氷ノ山の蛾について(第1報) 兵庫生物3(1/2):3-6
- 7) 山本義丸(1956) 氷ノ山の蛾について(第2報) 兵庫生物3(3):121-123
- 8) 山本義丸(1958) 兵庫県氷上郡昆虫目録12-50
- 9) 山本義丸(1958) 氷ノ山の蛾について(第三報) 兵庫生物3(4):237-239

兵庫県におけるリンガ亜科・サラサリンガ亜科分布一覽表

	神戸	阪神北摂	中東播南	中東播北	西播南	西播北	南但	北但	丹波	淡路北	淡路南	記録地数	備考
サラサリンガ亜科													
1. サラサリンガ	○	○	○		○		○		○		○	10	
リンガ亜科													
1. マエキリンガ		○		○		○	○		○		○	12	
2. アカマエアオリンガ	○	○	○		○	○	○		○		○	12	
3. ベニモンアオリンガ	○	○	○	○	○	○	○		○		○	19	
4. ハネモンリンガ						○	○					3	注自殖 山地住
5. クロオピリンガ	○	○	○	○	○	○	○		○		○	27	
6. カマフリンガ	○				○	○	○		○			11	
7. カバイロリンガ		○					○					5	注自殖 山地住
8. テキアオリンガ												1	注自殖 南方系住
9. ウスアオリンガ											○	4	注自殖 暖地住
10. ミドリリンガ	○	○		○	○	○	○					13	
11. ツクシアオリンガ					○	○	○					3	注自殖 暖地住
12. アオスシアオリンガ		○	○	○	○	○	○					21	
13. アカスシアオリンガ	○	○	○	○	○	○	○					15	
14. トビイロリンガ											○	4	注自殖
15. キンホシリンガ	○	○	○	○	○	○	○		○		○	18	
16. ハイイロリンガ	○	○	○	○	○	○	○		○		○	12	
17. アミメリンガ					○	○	○		○			7	
リンガ亜科計	8	13	6	8	11	11	11	8	11	3	8		

- 13) 田中 蕃(1967) 神戸市摩耶山に産する大蛾類 佳香蝶19(71):89-104
- 26) 登日邦明(1973) 淡路島産蛾類分布資料(I) 蛾類通信73:215-224
- 29) 登日邦明(1973) 淡路島若干の蛾の記録 PARNASSIUS 9:9-16
- 31) 遊磨正秀(1973) 六甲山地域の蛾類 I きべりはむし 2(1):1-9
- 35) 藤平 明(1974) 南淡の蛾(II) PARNASSIUS 12:5-13
- 36) 奥谷禎一(1974) 中国山脈東端の昆虫相 東中国山地自然環境調査報告173-191
- 42) 高橋 匡(1975) 豊岡高等学校昆虫標本目録(第1・2報)48-54
- 43) 高橋 匡(1975) 豊岡高等学校昆虫標本目録(第3報)9-14
- 55) 遊磨正秀(1979) 宍粟郡波賀町引原ダムの蛾類について(II) きべりはむし7(2):2-16
- 56) 遊磨正秀(1980) 朝来郡朝来町須留ヶ峰の蛾類について(I) きべりはむし8(2):1-8
- 66) 新家 勝(1981) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(その2) きべりはむし9(2):17-20
- 70) 遊磨正秀(1981) 養父郡大屋町田淵山の蛾類について(I) きべりはむし9(1):3-6
- 73) 夏秋優・佐々木昇(1982) 能勢地の蛾(I) 上阿古谷・夏の蛾 Crude 23:1-37
- 76) 新家 勝(1982) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(統報その1) きべりはむし10(2):10-16
- 78) 林 俊雄(1983) 淡路島産蛾類採集記録(I) PARNASSIUS 28:13-16
- 81) 松本健嗣(1983) 神戸市山田町の蛾(統報II) きべりはむし11(2):57-58
- 82) 夏秋優・佐々木昇(1983) 能勢地方の蛾(II) 上阿古谷・夏の蛾(統報) Crude 24:1-12
- 84) 新家 勝(1983) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(統報その2) きべりはむし11(1):6-10
- 86) 木村三郎(1984) 広峰・増位山系の昆虫 てんとうむし9:53-58
- 87) 夏秋優・佐々木昇(1984) 能勢地方の蛾(III) 妙見山・夏の蛾(1) Crude 25:15-22
- 88) 新家 勝(1984) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(統報その3) きべりはむし12(2):53-55
- 92) 新家 勝(1985) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(統報その4) きべりはむし13(2):36-40
- 96) 新家 勝(1986) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(統報その6) きべりはむし14(2):30-33
- 97) 谷田昌也(1986) 扇ノ山の蛾類分布資料(1) IRATSUME 10:30-37
- 99) 藤平 明(1987) 南淡の蛾 自刊
- 102) 川副昭人(1987) 佐用郡三日月町の蛾覚え書 てんとうむし10:1-10
- 104) 岡村八郎(1987) 神戸市摩耶山の蛾類採集記録 てんとうむし10:37-45
- 113) 新家 勝(1988) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(統報その8) きべりはむし16(1):13-15
- 126) 日本野鳥の会(1992) 姫路市自然観察の森林内基礎調査報告書4-6昆虫類119-151
- 129) 新家 勝(1993) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(統報その10) きべりはむし21(2):53-64
- 130) 宝塚市教育委員会(1993) 宝塚の昆虫 V 蛾類(II)
- 131) 藤宮正昭(1994) 私版 淡路の昆虫リスト PARNASSIUS 41:1-4
- 137) 藤平 明(1995) 淡路島南部で注目される蛾(I) PARNASSIUS 42:14-15
- 142) 高島 昭(1995) 波賀町引原ダム周辺における蛾相第1報 きべりはむし23(1):6-16
- 152) 高島 昭(1996) 相生市三濃山の蛾(1) きべりはむし24(1):27-39
- 155) 山本義丸(1996) 兵庫県水上郡地方の蛾類(1) きべりはむし24(2):1-13
- 158) 岡本 清(1997) 高砂の蛾 てんとうむし11:40-45
- 159) 高島 昭(1997) 上郡町で採集した蛾(1) きべりはむし25(1):31-38
- 160) 高島 昭(1997) 姫路市広嶺山の蛾(1) てんとうむし11:65-69
- 166) 永瀬幸一(1997) 鉢伏高原でシンジュキノカワガを採集 Nature Study 43(10):11
- 168) 岡本 清(1998) 黒田庄町で採集した蛾(1) てんとうむし12:30-38
- 171) 高島 昭(1998) 黒川の蛾 きべりはむし26(1):23-38
- 178) 高島 昭(1998) 相生市三濃山麓の蛾(2) きべりはむし26(2):59-64
- 185) 越野誠一郎・宇根崎博信(1993) 大阪府南部の注目すべき蛾類 II 蛾類通信174:422-425
- 197) 藤平 明(1999) 淡路島南部の蛾 自刊1-96
- 200) 相坂耕作(1999) 新宮町の陸生昆虫 新宮町自然調査報告I 新宮町の自然119-144
- 201) 山口福男(1999) 諏訪山公園で採集した蛾 きべりはむし27(2):37-41
- 204) 岡本 清(1999) 兵庫県で採集した蛾 てんとうむし13:50-58
- 206) 夏秋 優(1997) 兵庫県尼崎市塚口の蛾 Crude 41:20-25

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)